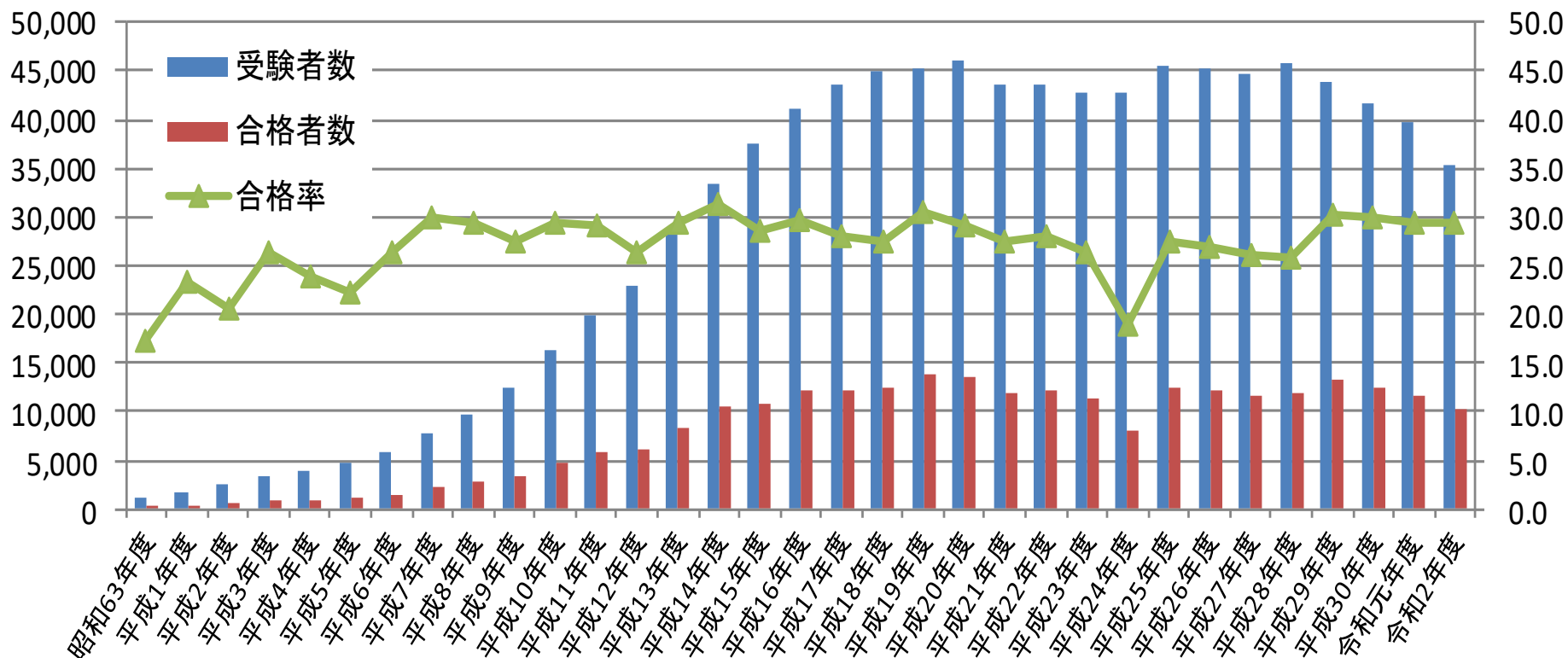


社会福祉士国家試験の 受験者数の推移等

社会福祉士国家試験の受験者数等の推移

社会福祉士国家試験の実施状況については、令和2年度(第33回)の試験では、受験者数が3万5,287人、うち合格者数が1万0,333人、合格率が29.3%となっている。



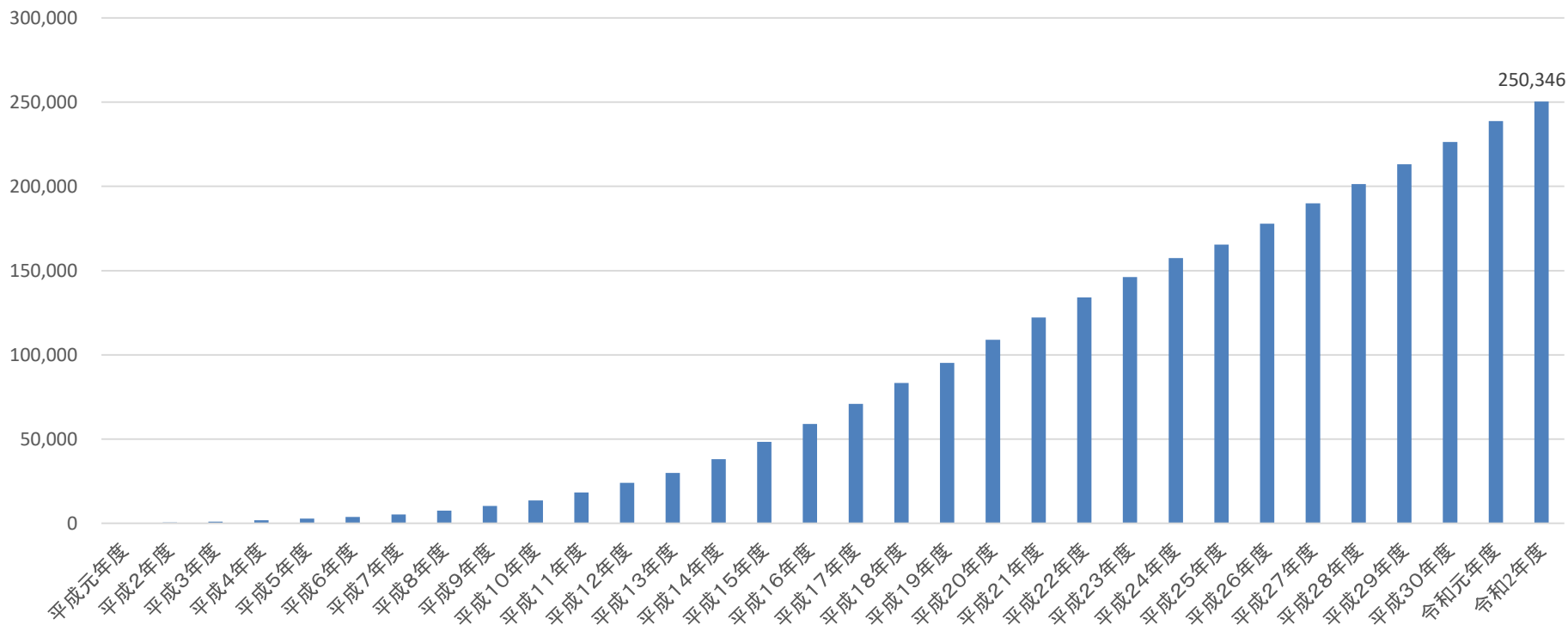
社会福祉士 (単位:人、%)

	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
受験者数	1,033	1,617	2,565	3,309	3,886	4,698	5,887	7,633	9,649	12,535	16,206	19,812	22,962	28,329	33,452	37,657	41,044
合格者数	180	378	528	874	924	1,049	1,560	2,291	2,832	3,460	4,774	5,749	6,074	8,343	10,501	10,733	12,241
合格率	17.4	23.4	20.6	26.4	23.8	22.3	26.5	30	29.4	27.6	29.5	29	26.5	29.5	31.4	28.5	29.8

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
受験者数	43,701	45,022	45,324	46,099	43,631	43,568	42,882	42,841	45,578	45,187	44,764	45,849	43,937	41,639	39,629	35,287
合格者数	12,222	12,345	13,865	13,436	11,989	12,255	11,282	8,058	12,540	12,181	11,735	11,828	13,288	12,456	11,612	10,333
合格率	28	27.4	30.6	29.1	27.5	28.1	26.3	18.8	27.5	27	26.2	25.8	30.2	29.9	29.3	29.3

社会福祉士の登録者数の推移

社会福祉士登録者数は、令和2年9月末時点で、25万0,346人となっている。



250,346

S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
0	168	527	1,033	1,873	2,783	3,801	5,309	7,485	10,267	13,650	18,375	24,006	29,979	38,157

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
48,409	58,952	70,968	83,027	95,216	108,877	122,138	134,066	146,220	157,463	165,494	177,896	189,903	201,433	213,145

H30	R1	R2
226,283	238,696	250,346

※ 各年度9月末時点

社会福祉士の資格の概要

1 社会福祉士の定義

社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者

「社会福祉士及び介護福祉士法」(昭和62年法律第30号) 第2条第1項

2 資格取得方法

3つのルートのいずれかにより国家試験の受験資格を取得し、社会福祉士国家試験に合格し、登録することが必要

- ① 福祉系大学等で社会福祉に関する指定科目を修めて卒業する「福祉系大学等ルート」
- ② 福祉系大学等で社会福祉の基礎科目を修めて卒業等した後、短期養成施設で6月以上修学する「短期養成施設ルート」
- ③ 一般大学等を卒業又は4年以上相談援助業務に従事等した後、一般養成施設で1年以上修学する「一般養成施設ルート」

3 国家試験の概要

- 形態：年1回の筆記試験(2月上旬に実施)
- 試験の実施状況(令和2年度実施の第33回試験結果)
受験者数35,287人、合格者数10,333人(合格率29.3%)
- 筆記試験の科目(19科目)

①人体の構造と機能及び疾病、②心理学理論と心理的支援、③社会理論と社会システム、④現代社会と福祉、⑤社会調査の基礎、⑥相談援助の基盤と専門職、⑦相談援助の理論と方法、⑧地域福祉の理論と方法、⑨福祉行財政と福祉計画、⑩福祉サービスの組織と経営、⑪社会保障、⑫高齢者に対する支援と介護保険制度、⑬障害者に対する支援と障害者自立支援制度、⑭児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、⑮低所得者に対する支援と生活保護制度、⑯保健医療サービス、⑰就労支援サービス、⑱権利擁護と成年後見制度、⑲更生保護制度

※⑥、⑦がソーシャルワークに該当。なお、精神保健福祉士については、その申請により精神保健福祉士試験との共通科目(①、②、③、④、⑧、⑨、⑪、⑬、⑮、⑯、⑱の11科目)の試験が免除される。

4 資格者の登録状況

257,293人(令和3年3月末現在)

5 社会福祉士養成施設等の状況

- 学校、養成施設数(令和3年4月1日時点)
福祉系大学等：242校 298課程 定員20,640人
社会福祉士指定養成施設：68校 96課程 定員13,643人

社会福祉士の資格取得ルート

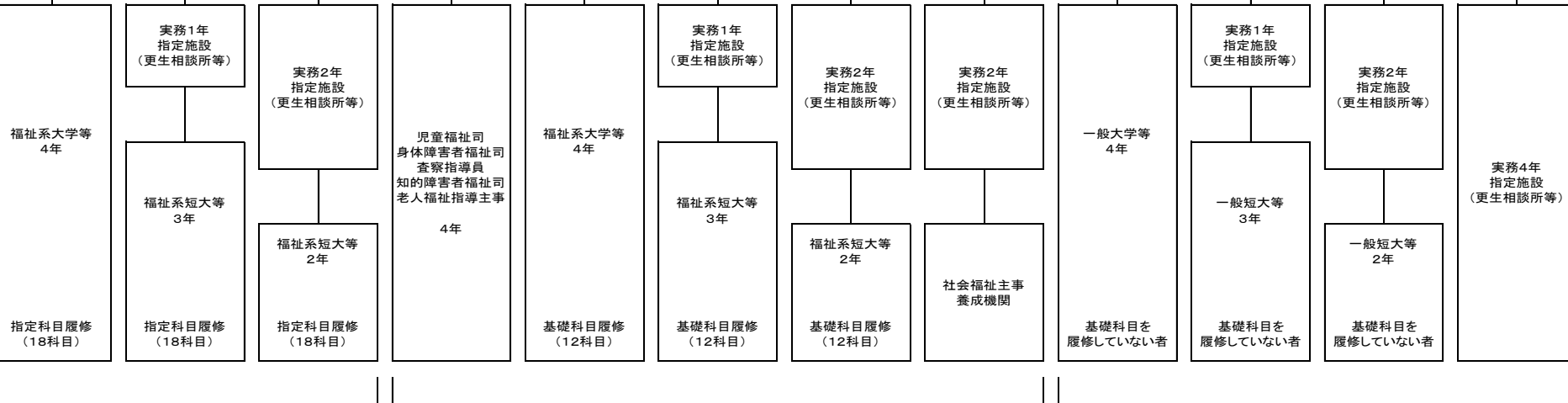
- 社会福祉士の資格を取得するためには国家試験に合格する必要があるが、受験資格を得るには大きく分けて3ルートある。
- ① 福祉系大学等で社会福祉に関する指定科目を修めて卒業する「福祉系大学等ルート」
 - ② 福祉系大学等で社会福祉の基礎科目を修めて卒業等した後、短期養成施設で6月以上修学する「短期養成施設ルート」
 - ③ 一般大学等を卒業又は4年以上相談援助業務に従事等した後、一般養成施設で1年以上修学する「一般養成施設ルート」

社会福祉士資格(登録)

社会福祉士国家試験

短期養成施設等(6月以上)

一般養成施設等(1年以上)



①福祉系大学等ルート

②短期養成施設ルート

③一般養成施設ルート

試験実施日程及び試験地数

		平成30年度 第31回	令和元年度 第32回	令和2年度 第33回
試験実施日程	受験申込 受付期間	平成30年9月6日(木)～ 平成30年10月5日(金)	令和元年9月5日(木)～ 令和元年10月4日(金)	令和2年9月10日(木)～ 令和2年10月9日(金)
	受験票発送	平成30年12月7日(金)	令和元年12月6日(金)	令和2年12月11日(金)
	試験日	平成31年2月3日(日)	令和2年2月2日(日)	令和3年2月7日(日)
	合格発表	平成31年3月15日(金)	令和2年3月13日(金)	令和3年3月15日(月)
試験地数		24試験地(38会場)	24試験地(37会場)	24試験地(39会場)

(参考) 精神保健福祉士

7試験地(8会場)

7試験地(9会場)

7試験地(8会場)

(参考) 社会福祉士「就労状況調査」(令和2年度)概要

○現在の就労状況

①福祉・介護・医療の分野で仕事をしている方	77,576人(77.4%)
②福祉等の資格者を養成する大学等で仕事をしている方	1,234人(1.2%)
③福祉等以外の分野で仕事をしている方	9,439人(9.4%)
④現在、仕事をしていない方	10,778人(10.7%)

○福祉・介護・医療の分野における就労状況

高齢者福祉関係	30,510人(39.3%)
障害者福祉関係	13,678人(17.6%)
児童・母子福祉関係	6,339人(8.2%)
生活保護関係	514人(0.7%)
地域福祉関係	6,539人(8.4%)
生活困窮者自立支援関係	410人(0.5%)

医療関係	11,727人(15.1%)
学校教育関係	770人(1.0%)
就業支援関係	503人(0.6%)
司法関係	278人(0.4%)
行政機関	5,202人(6.7%)
その他	1,018人(1.3%)

○潜在有資格者の福祉・介護・医療の分野への就業の意向

	是非働きたい	条件があれば働きたい	働きたくない	分からない
③のうち、福祉分野の就業経験がある方 [A]	521人(9.0%)	2,955人(51.1%)	1,025人(17.7%)	1,238人(21.4%)
④のうち、福祉分野の就業経験がある方 [B]	1,162人(12.5%)	4,436人(47.8%)	1,816人(19.6%)	1,712人(18.4%)
③④のうち、福祉分野の就業経験がない方 [C]	363人(7.7%)	2,430人(51.6%)	586人(12.4%)	1,235人(26.2%)

○福祉・介護・医療の分野に就業する際に最も重視すること

A : 「職場の雰囲気や人間関係(18.4%)」「やりたい仕事ができる(18.0%)」

B : 「育児や介護の支援が得られる(18.3%)」「職場の雰囲気や人間関係(18.2%)」

C : 「給与や賃金の水準(25.3%)」「やりたい仕事ができる(19.0%)」

○福祉・介護・医療の分野に就業する際に希望する支援策

A、B、Cともに「現在の福祉・介護・医療制度に関する研修」が最も多い。